

統計協会ニュース

<http://www.etisa.or.jp/>

第147号

令和3年1月6日

一般社団法人 経済産業統計協会

電話 03(3561)2974

FAX 03(3561)5212

目次

◎統計ニュース

- ・経済解析室ニュースより・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ・鉱工業指数等の公表予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

◎協会の動き

- ・月例研究会の開催予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- ・経済統計セミナーの開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

◎刊行物案内

- ・一般社団法人経済産業統計協会刊行物一覧（近刊・新刊情報）・・・・・・9

統計ニュース

経済解析室ニュースより

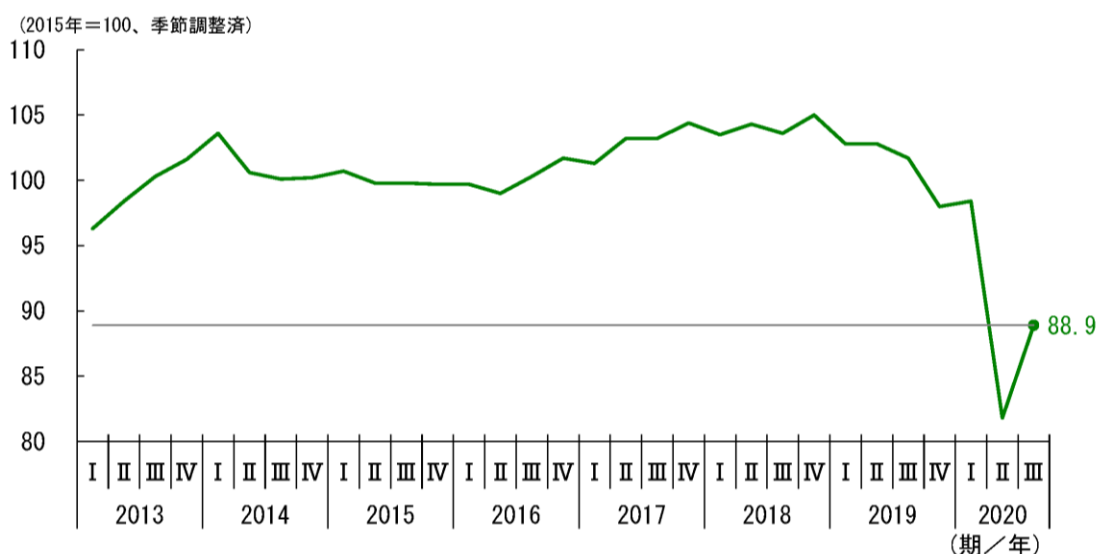
経済産業省調査統計グループ経済解析室で発信をしています「鉱工業指数と第3次産業活動指数からみた2020年7-9月期の産業活動」の一部を抜粋して掲載します。

URL:http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/mailmaga_index.html

1 2020年第3四半期の産業活動

(1) 鉱工業生産指数の動向

・2020年7-9月期の鉱工業生産指数は88.9(前期比8.7%)と2期ぶりの上昇。

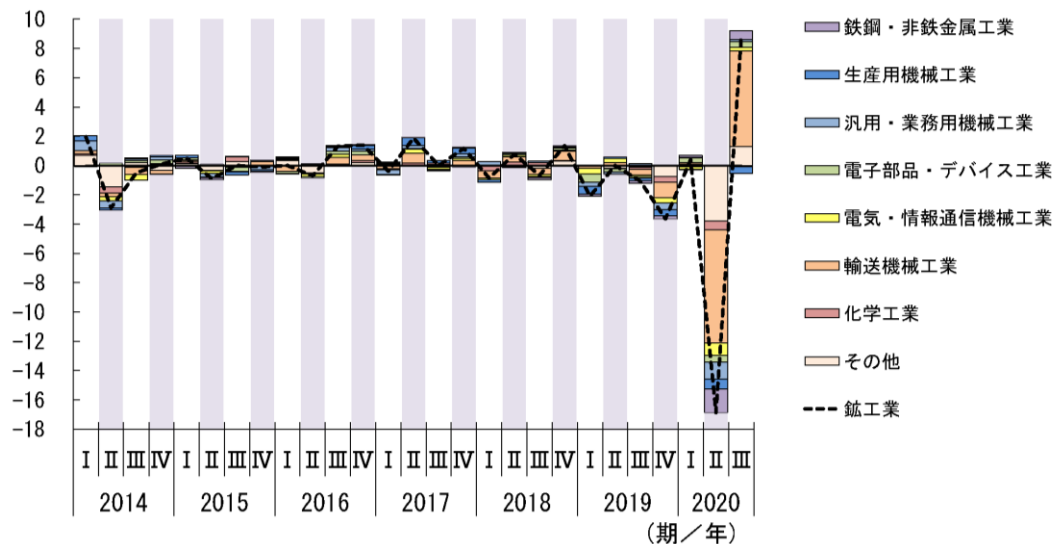


(資料)経済産業省「鉱工業指数」より作成。

(2) 鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- ・ 2020年7-9月期の生産指数は生産用機械工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前期比8.7%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

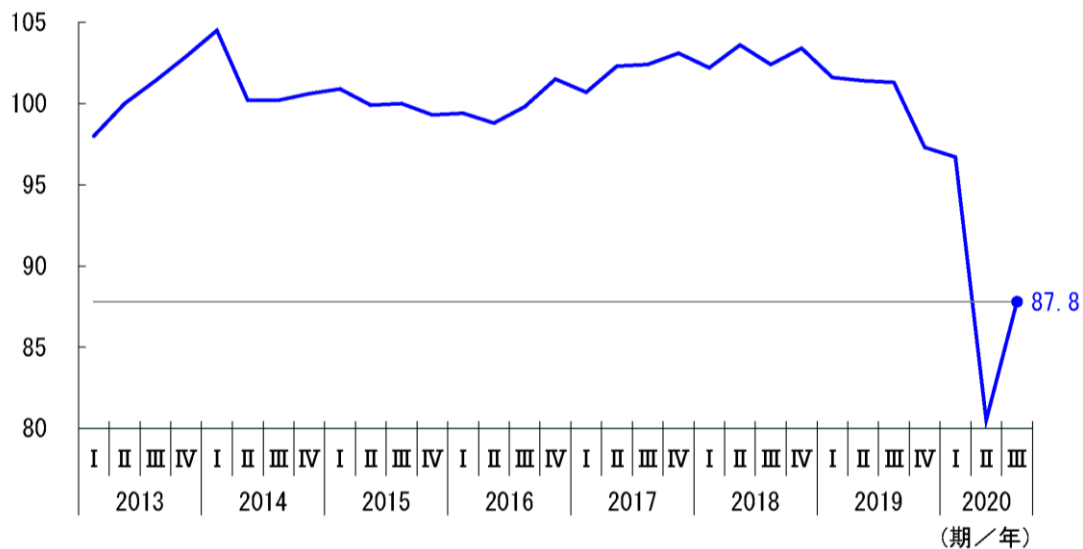


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」より作成。

(3) 鉱工業出荷指数の動向

- ・ 2020年7-9月期の鉱工業出荷指数は87.8(前期比9.1%)と7期ぶりの上昇。

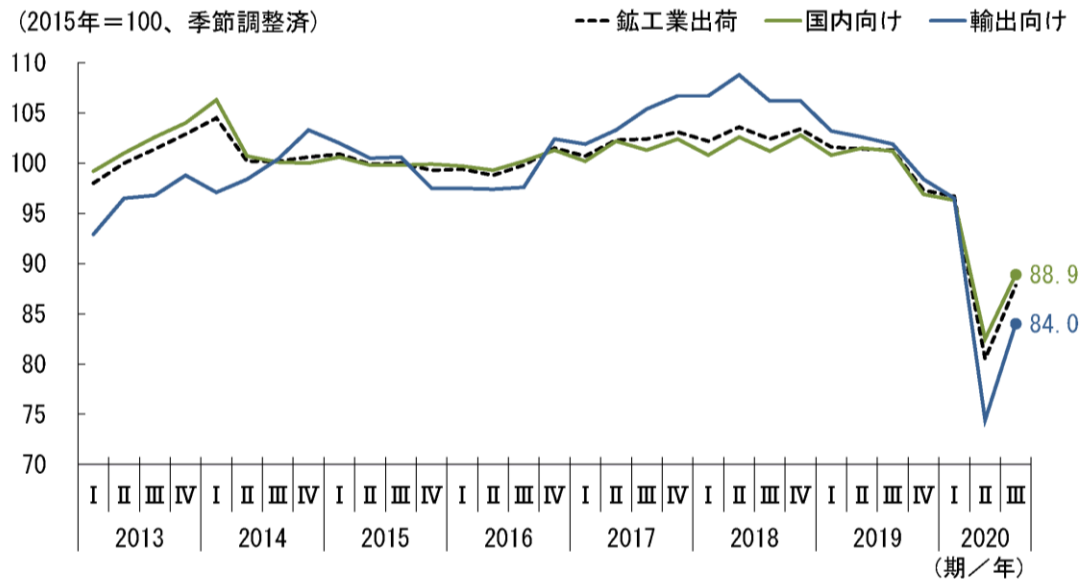
(2015年=100、季節調整済)



(資料) 経済産業省「鉱工業指数」より作成。

(4) 国内向け、輸出向け出荷の動向

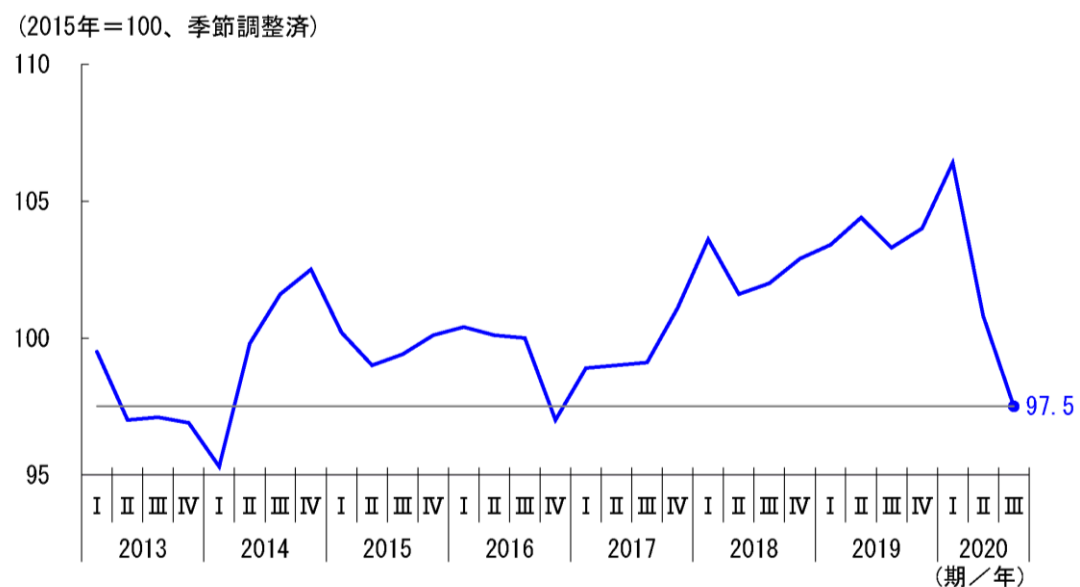
・2020年7-9月期の鉱工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは88.9(前期比7.8%)と5期ぶりの上昇、輸出向けは84.0(前期比12.9%)と9期ぶりの上昇。



(資料) 経済産業省「鉱工業指数」、「鉱工業出荷内訳表」より作成。

(5) 鉱工業在庫指数の動向

・2020年7-9月期の在庫指数は97.5(前期比-3.3%)と2期連続の低下。

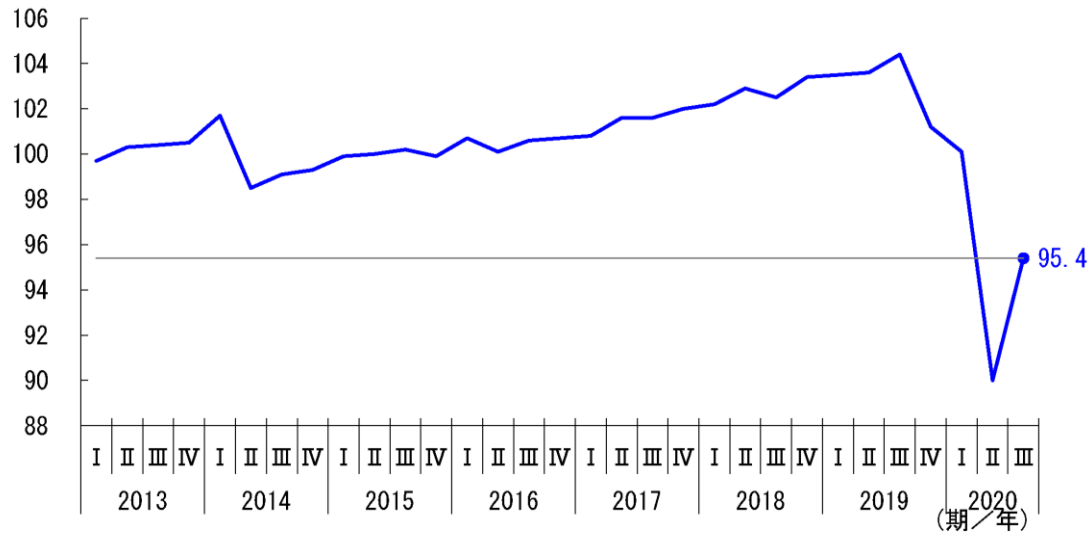


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」より作成。

(6) 第3次産業活動指数の動向

・2020年7-9月期の第3次産業活動指数は、95.4(前期比6.0%)と4期ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

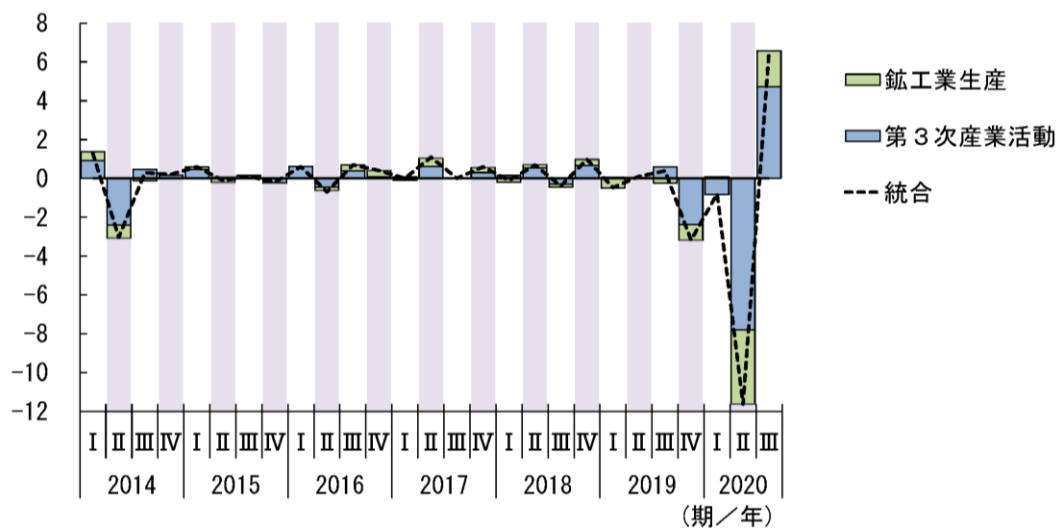


(資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

(7) 第3次産業活動指数前期比 業種別の影響度合い

・2020年7-9月期の統合指数は鉱工業生産、第3次産業活動ともに上昇したため、前期比6.6%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

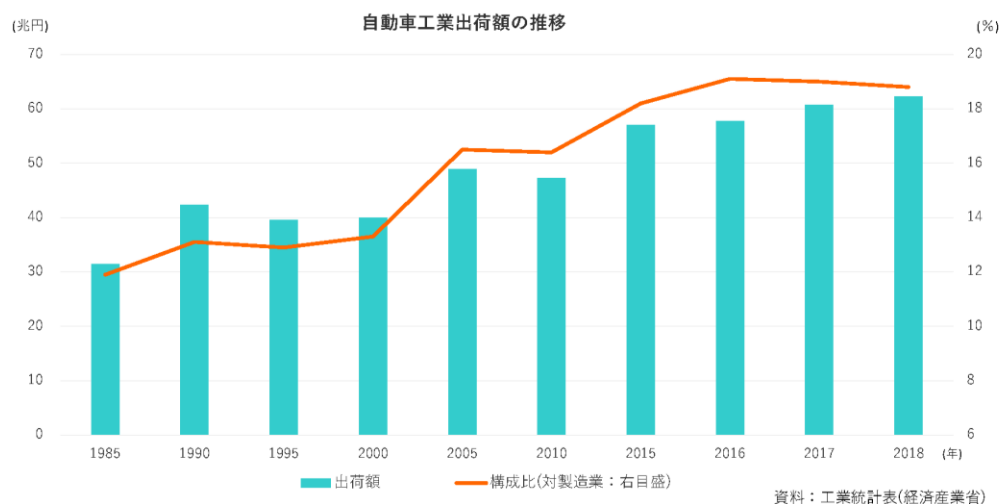


(資料) 経済産業省「鉱工業生産」、「第3次産業活動指数」より作成。

2 鉄工業生産を牽引する自動車工業

(1) 自動車産業の位置付け ①

- 工業統計表でみると、自動車工業の出荷額は、6 2 兆 3 千億円（2018年）にのぼり、バブル経済開始直前の1985年に比べほぼ倍になっている。また、製造業全体に占める自動車工業の割合（構成比）も、約 1 2 %から約 1 9 %へと大きく上昇している。



(2) 自動車産業の位置付け ②

- 延長産業連関表（2016年）で、自動車工業の付加価値や最終需要の状況をみると、付加価値額は 1 1 兆円で、全産業に対する構成比は 2.1 %。
- 最終需要項目別の自動車工業の構成比をみると、民間消費支出は 2.0 %、固定資本形成は 3.6 %といった位置付けであるが、輸出においては 1 9.1 %とほぼ 2 割を占め、財貨（モノ）の輸出に限れば、2 4.7 %と約 4 分 1 という大きな位置付けとなっている。
- 付加価値額の構成比ではさほど大きくないようにも見えるが、各産業への波及度合いである生産波及力(*)をみると、9 6 業種中上位 5 業種に自動車工業の 3 業種が入っており、自動車工業がもたらす我が国の生産全体への波及効果は乗用車で 2.7 倍と、全産業の中で最も大きいことがわかる。

自動車工業の付加価値・最終需要構成

	自動車工業 (億円)	全産業 (億円)	構成比 (%)
付加価値額	109,977	5,358,616	2.1
民間消費支出	61,389	3,035,629	2.0
固定資本形成	48,789	1,364,840	3.6
輸出 (うち財貨)	149,284	780,097	19.1
		603,207	24.7

資料：平成28年延長産業連関表(経済産業省)

業種別の生産波及力(上位5業種)

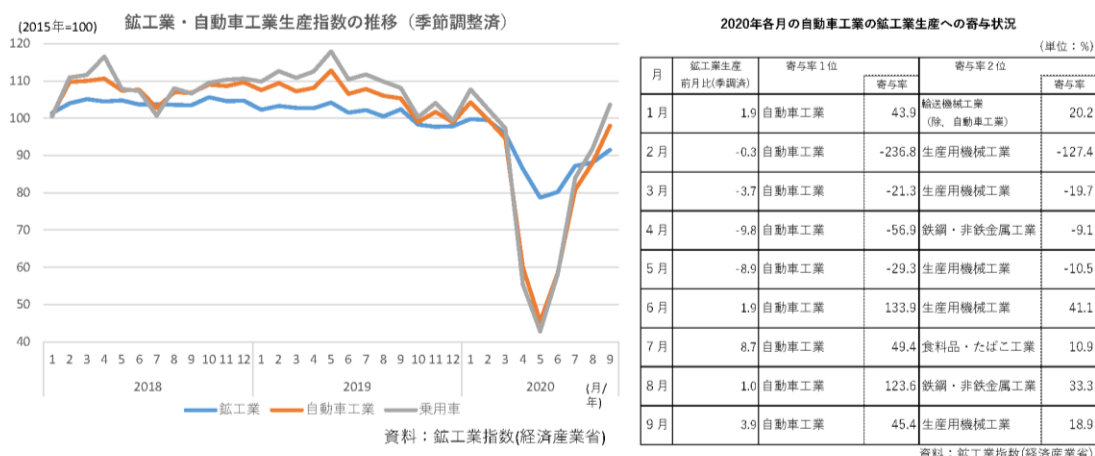
	生産波及力 * 逆行列係数の列和
乗用車	2.724823
その他の自動車	2.704175
鋼材	2.587036
その他の鉄鋼製品	2.580105
自動車部品・同附属品	2.441770

資料：平成28年延長産業連関表(経済産業省)

*生産波及力とは、当該産業の需要が自産業含む全産業の生産額に及ぼす波及効果を指し、これが2.7であれば、当該産業に1単位の国産品需要があれば、当該産業の国内生産額が1単位増加するのみならず、全産業では2.7倍の生産誘発がもたらされることを意味する。

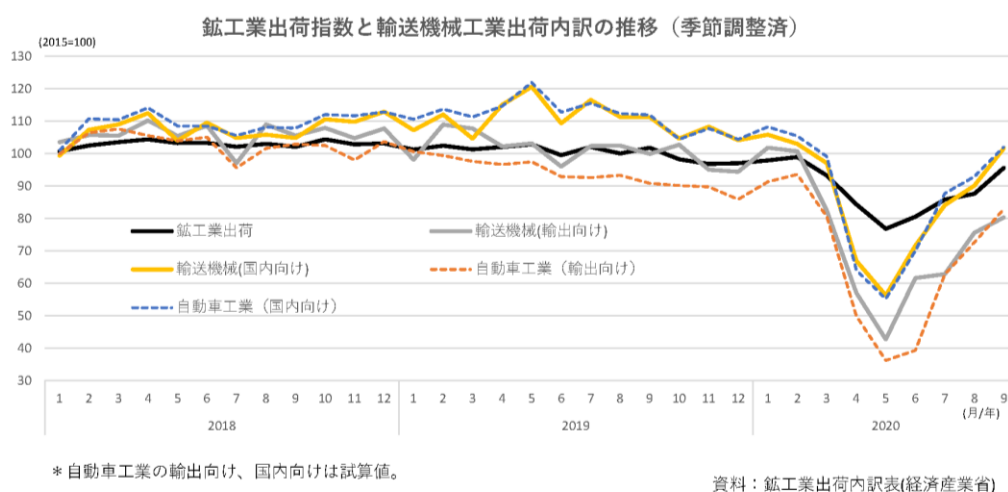
(3) 最近の鉱工業生産の動向と自動車工業

- 近年の鉱工業生産指数（季節調整済）の推移をみると、2018年終盤以降、世界経済の減速等の影響を受け、緩やかな低下傾向で推移したが、自動車工業、特に乗用車が上支えをしたことから、その低下幅は小さなものとなった。
- また、直近の新型コロナウイルス感染症拡大による鉱工業生産への影響についても、自動車工業は3月、4月、5月と大幅にマイナスに寄与したが、その後の回復過程では逆に自動車工業は4か月連続で大幅にプラスに寄与している。



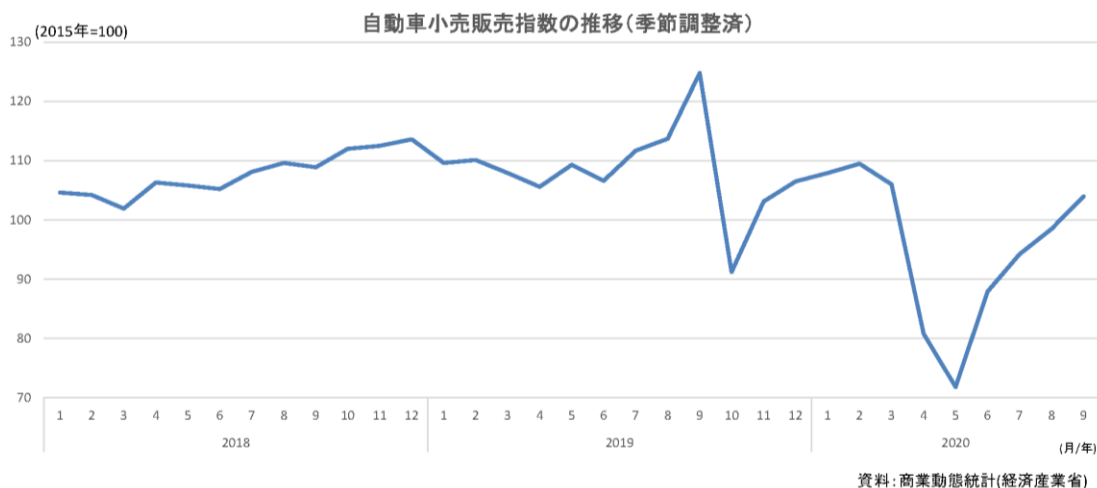
(4) 鉱工業出荷内訳でみた輸送機械工業の内外需要別動向

- 鉱工業出荷内訳表で自動車工業を含む輸送機械工業の内外需別の推移についてみると、生産指数同様、出荷指数も2018年終盤以降、緩やかな低下傾向で推移したが、それを上支えしたのは、国内向け出荷となっている。一方、輸出向け出荷は、2019年に入ると低下傾向で推移し、新型コロナウイルス感染症による経済ショックの影響も輸出向けの方が大きかった。



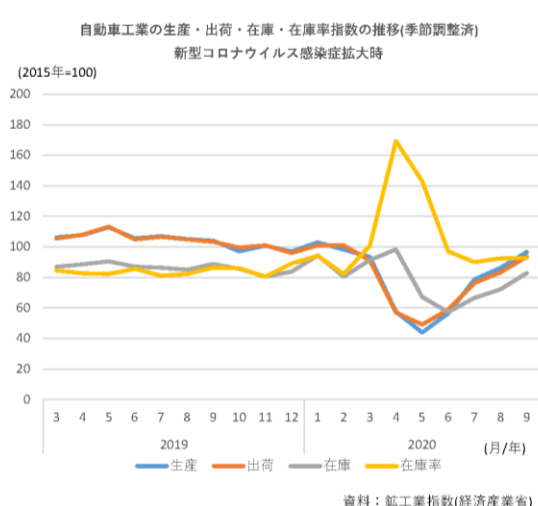
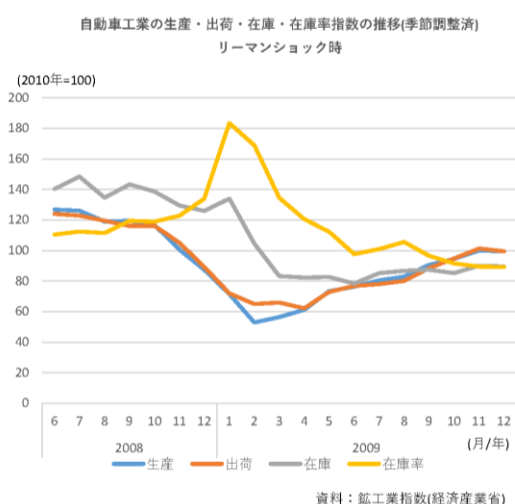
(5) 自動車国内販売の状況

- 自動車の国内販売の状況について、商業動態統計で自動車小売販売指数（季節調整済）をみると、2018年は増加傾向で推移したが、2019年に入ると一転減少傾向となった。5月以降、再び上昇傾向に転じたが、10月の消費税率引上げの前後で、台風19号の影響も重なり、大幅な増減がみられた。2019年終盤から2020年初頭にかけて再び増加し、消費税率引上げ前の水準まで戻したが、2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、再び大幅減少となった。ただ5月を底に、6月以降は回復傾向にある。



(6) 自動車工業の在庫調整局面比較

- 今回の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う内外の需要の大幅減で、自動車工業は大幅な生産調整を強いられた。
- リーマンショック時と比較すると、今回は、短期の大幅な減産により、在庫率をみても短期間で在庫の調整を終了しており、6月以降、需要回復に伴い生産を順調に回復させている。



(注) リーマンショック時の「自動車工業」の各指数値は、2010年基準の「(特掲:乗用車・バス・トラック)」の指数値を用いており、新型コロナウイルス感染症拡大時の「自動車工業」の各指数値は、2015年基準の「乗用車・バス・トラック(22年基準)」の指数値を用いている。

鉱工業指数等の公表予定

鉱工業生産・出荷・在庫指数速報	2年	1 1 月分	1 2 月 2 7 日公表
		1 2 月分	1 月 3 1 日公表予定
製造工業生産予測調査	2年	1 2 月調査	1 2 月 2 7 日公表
	3年	1 月調査	1 月 3 1 日公表予定
商業動態統計速報	2年	1 1 月分	1 2 月 2 7 日公表
		1 2 月分	1 月 3 1 日公表予定
経済産業省生産動態統計速報	2年	1 1 月分	1 2 月 2 7 日公表
		1 2 月分	1 月 3 1 日公表予定
第3次産業活動指数	2年	1 0 月分	1 2 月 1 6 日公表
		1 1 月分	1 月 1 7 日公表予定

経済産業省調査統計グループが公表する統計調査の結果及び分析結果は、経済産業省ホームページの「統計」に掲載されていますので、以下のアドレスを検索することによりご覧いただけます。<http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>

協会の動き

○月例研究会の開催予定（正会員のみ）

日時					場所
令和3年	12月分	2月	3日（月）	12：00～13：10	商工会館 7 F
令和3年	1月分	3月	2日（月）	12：00～13：10	〃
	2月分	4月	1日（水）	12：00～13：20	〃

○経済統計セミナーの開催予定

一般財団法人産業人材研修センターと共催、一般財団法人経済産業調査会の後援で、定期開催しております経済統計セミナーにつきましては、コロナウィルス感染防止の観点から、開催をとりやめております。

次回につきましては詳細決定次第、お知らせいたします。

刊行物案内

一般社団法人経済産業統計協会刊行物（近刊・新刊情報）

2019年 企業活動基本調査報告書（令和2年12月18日発行）

- | | |
|----------------|--------------|
| ・第1巻 総合統計表 | 本体 27,000円＋税 |
| ・第2巻 事業多角化等統計表 | 本体 15,500円＋税 |
| ・第3巻 子会社等統計表 | 本体 19,700円＋税 |

2020 我が国の工業（令和2年10月30日発行）

本体 4,300円＋税

平成27年基準 鉱工業指数年報 平成31年・令和元年 （令和2年9月30日発行）

本体 7,000円＋税

2019年 経済産業省生産動態統計年報（令和2年9月8日発行）

- | | |
|------------------------|-------------|
| ・繊維・生活用品統計編 | 本体 8,700円＋税 |
| ・紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編 | 本体 7,900円＋税 |
| ・資源・窯業・建材統計編 | 本体 6,400円＋税 |
| ・鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計編 | 本体 9,000円＋税 |

【今後の発行予定】

指数の作成と利用（第8版）

価 格 未 定

2019年経済構造実態調査報告書 二次集計結果【乙調査編】17分冊

価 格 未 定

正会員・賛助会員は、特別割引（1割引）で承ります。
刊行物のお買い求めは一般社団法人経済産業統計協会へ

TEL 03(3561)2974 FAX 03(3561)5212

E-mail : kojima@etisa.or.jp

<http://www.etisa.or.jp>